

# 令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

## 施設評価シート

子育てセンターさやのもり

### こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 6年 2月 27日 9:30 ~ 10:30

### 【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 2名 地域委員 2名 保護者委員 2名

### 【園の教育・保育目標】

感謝の気持ち・自己肯定感・貢献度の持てる子を育む ～子どもの心の理解～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

1. 自分大好き・友だち大好き・ありがとうがいっぱい ～子どもの心の理解～
2. エコ活動を通して資源の大切さを知ろう

### 【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児、見学の方にはグランドデザインを活用して説明してきた。</li> <li>・重点目標を玄関にも掲示していることで常に目にする事ができ、意識して日々の実践ができていた。また「振り返りシート」を活用することで自身の振り返りを行うことができた。</li> <li>・職員会議の中で毎月エコ紹介をしているため、教育・保育活動の実践につなげることができている。</li> <li>・新規採用職員に対し、グランドデザインの説明が十分でなく、理解の深まりがみられない。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の評価理由から、職員が理解していくための取り組みと職員がよく理解している状況が分かった。</li> </ul>
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年での話し合いをもとに年間計画・月間計画を立案し、週の活動に落とし込み作成している。</li> <li>・年間計画している行事について、子ども・保護者・職員の視点で配慮事項を打ち合わせ、思いの共有をはかることができていた。職員間の役割も明確となり、実践することができた。</li> <li>・食育では旬の食材を取り入れ、給食提供をしている。玄関先でのサンプル食展示では子どもだけでなく親子で興味関心を高めることができた。</li> <li>・子どもの気持ちに共感したり、要求に応えられる環境を整え、ゆったりと関わりをもつことを意識し実践ができた。</li> </ul>	4	<p>（指導計画の連動性を理解いただくために追加資料として全体的な計画～日案までを提示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に指導計画を作成しており、計画と共にフィードバック（振り返り）も十分していることで職員が理解できている。</li> <li>・実際に指導計画を資料として見たことで、全体的な計画から日案まで紐づいていることが理解できた。また日案のねらいが週案、月案、年間へと連動し計画がされていることがよくわかった。</li> </ul>
<b>III. 子どもにとっては</b> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの個性を知り、年齢や発達に応じた環境づくりに努めた。</li> <li>・子ども達が様々な経験を積み重ねていけるよう、野菜の栽培や生き物の飼育、クッキング等を計画し、実践することができた。</li> <li>・地域との繋がり（太鼓店見学、畑活動、散歩活動等）とサービス交流を通して様々な方と関わりあうことができていた。</li> <li>・個々に合わせた食事の提供（アレルギー、離乳食等）をしている。</li> <li>・園周辺には自然がたくさんあるため、自然活動をもう少し充実できるとよかった。</li> <li>・クラスを超えた異年齢での交流も意識的に行ったが、更に深めていけるよう次年度の活動に取り入れていきたい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢での交流が増えており、他の学年の子の名前を聞かれることが増えた。運動会やリズム発表会など大きな行事での異年齢交流の様子は見ることでできるが、普段の関わりの様子が見られるとよりよい。</li> <li>・コロナが5類になり、少しずつ以前行っていた活動に戻ってきていることが分かったが、プール活動やお散歩に行く機会は以前より少なくなってきたように感じる。</li> <li>・満足度調査の数値だけ見ると数値の伸びが課題といえる。今後更に教育・保育の質を高めていただくことを期待する。</li> <li>・コロナだけが理由ではなく活動や行事に対する考え方が変化してきている時期であるため“子どもにとって”はという視点で更なる改善を期待する。</li> </ul>

<p><b>IV. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対応では日々の活動を通した子どもの様子を伝えるよう努めている。また必要に応じて面談を行えるように、職員間で情報の共有をしている。</li> <li>・今年度は保育参加で食事の様子まで見てもらえるよう時間を伸ばしたことで、保護者の方が気になっている園での食事面についても伝えることができた。</li> <li>・一時保育、支援センターを利用される保護者対応についても気軽に利用できる環境づくりに取り組めた。</li> <li>・おたより等、システムによる配信となり、閲覧状況が確認できない仕様であるため情報がどの程度伝わっているかが確認できない。発信の仕方や確認の工夫が必要である。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートより「親身に相談に乗ってもらえることが嬉しい」との意見が挙がっているため、コミュニケーションにおける研修が生かされていると感じる。</li> <li>・気軽に相談できる環境にあり、保護者の気持ちに寄り添える環境になっていると思う。</li> <li>・情報の発信についてはシステムによる配信となり便利になったが、どれも最新の情報がわかりにくい。また情報を紙ではなく画面で見ると忘れてしまいがち。確認をしているとスマホを見ている時間が長くなってしまっている。</li> <li>・上記にあるバーレスの推進によるデジタル媒体での情報提供については今後も課題としながらも、個々の保護者に寄り添った対応をしていることが確認できたので引き続き大切にしていきたい。</li> <li>・園の伝えたいことを保護者がどのように受け止めてくれるかが課題である。</li> </ul>
<p><b>V. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援センターは来園しやすい場になっており、利用者の相談窓口になっている。</li> <li>・日常の様子や行事の様子等、ブログにて配信しているため広く地域に園の内容を知ってもらう機会を作り出している。今後も積極的に活用していく。</li> <li>・学生ボランティアや実習生の受け入れをしており、受け入れ体制が整っている。</li> <li>・未就園児も触れ合いの場（新ばんだ交流会、もうすぐ保育園等）を設けている。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で開かれた園として努力していることが伝わっている。</li> </ul>
<p><b>VI. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が生かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの立場で責任をもって報告、連絡、相談を密にし、コミュニケーションを大切に役割を果たしている。</li> <li>・職員一人ひとりの個性を生かした保育を意識し、チームとして補い合いながら良い環境をつくることができています。</li> <li>・新任職員は先輩職員より学ぶことが多くあった。</li> <li>・教育、保育についての学びや知識を深めていきたい気持ちはあるが、日々の業務に追われてきていない部分もあるため、園内研修の充実を図った。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校など、働き方改革でどの作業を切り取っていくかの時代になっていく中で、職員の研修・教材研究等よく努力していると思う。</li> <li>・職員研修の内容が充実していることがうかがえた。</li> <li>・振り返りシートについては文字として記載することで自分の考えをまとめ整理するという点で大切だと感じた。</li> <li>・新任の職員も悩むこともあると思うが、先輩職員から刺激を受けて成長していると思う。</li> </ul>